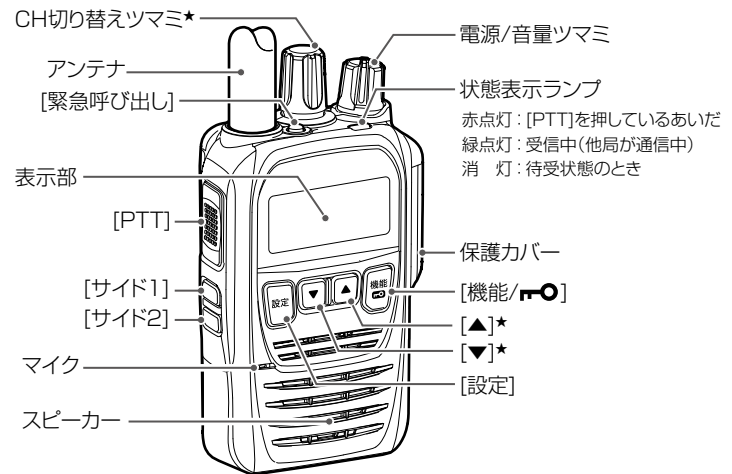


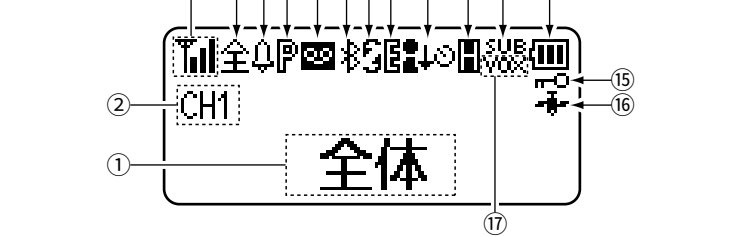
各部の名称



★CH切り替えツマミと[▼]/[▲]は同じ動作をします。本書では[▼]/[▲]で説明しています。

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。
本製品の設定について詳しくは、お買い上げの販売店におたずねください。

■ 表示部



①	メモリーチャンネル番号(名称)、ユーザーコード、秘話キー、設定モード、音量表示(電源/音量ツマミ操作時)
②	メモリーチャンネル番号、または着信などの状態表示
③	受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示 無 弱 中 強
④	個：個別、全：全体、基：基地、グ：グループ ☒：グループメンバーに設定されているグループ番号
⑤	点滅：個別呼び出しによる着信時、点灯：ポケットビープ機能設定時
⑥	点灯：Pベル機能設定時
⑦	📻：録音データあり、🎤：録音中、⏸️：録音一時停止
⑧	📶：Bluetooth機能ON時、🔗：Bluetooth接続中(IC-D70BTのみ)
⑨	点灯：秘話機能ON時
⑩	点灯：緊急呼び出し機能設定時
⑪	🔊：マンドアウン機能ON時、🔊：ローンワーカー機能ON時 🔊🔊：上記の機能が両方ともONの場合
⑫	🔊：ローパワー(1W)選択時、🔊：ハイパワー(5W)選択時 🔊：受信専用チャンネル選択時
⑬	PRI：プライベートチャンネルスキャン中 MC：メモリーチャンネルスキャン中 SUB：サブチャンネルスキャン中 点滅：スキャン一時停止中、点灯：スキャン中 AT：自動チャンネル切替機能ON時 点滅：自動チャンネルスキャン一時停止中、点灯：スキャン中
⑭	電池の残量(目安)を4段階で表示 🔋 十分、🔋 残量あり、🔋 残量小(早めに充電)、🔋 残量なし(要充電)
⑮	点灯：ロック機能動作中
⑯	📶📶：GPS機能動作時 点滅：測位中、点灯：測位完了 📶📶：内容が一部しか表示されていない場合に表示
⑰	点灯：VOX機能が「内部」、「Bluetooth」(IC-D70BTのみ)の場合に表示

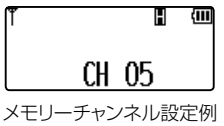
操作方法[基本編]

1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回すと、電源が入り、待ち受け状態になります。
※表示部の照明は、約5秒後に自動で消灯します。
※反時計方向に回すと、電源が切れます。

2. メモリーチャンネルをあわせる

[▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。
※同じメモリーチャンネルを設定する相手と通話できます。
※メモリーチャンネルが決まっていない場合は、「呼出CH」(CH15)に合わせます。



3. 呼び出しをする(送信する)

相手と同じメモリーチャンネルに合わせてから、他局が通信していないこと(状態表示ランプ：消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

4. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、状態表示ランプが緑色に点灯して、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。

5. 通話をつづける

応答するときは、待受状態(状態表示ランプ：消灯)になってから、[PTT]を押します。
※相手が送信しているときは、[PTT]を押しても混信防止機能が動作して、「ププッ…」と鳴りつづけ、送信できません。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

「呼出CH」(CH15)について

一時的な呼び出しにだけ使用しますので、呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いているメモリーチャンネルに変更してから通話してください。
※グループ通話、秘話機能、個別呼び出し機能による通話には使用できません。

ロック機能

[機能/ロック]を長く(約1秒)押すと、「ビビッ」と鳴って、「🔒」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※ロックされない操作は、ロック機能の解除、送信/受信、モニター機能のON/OFF、電源の入/切です。
※キーロック中の音量調整を有効にするには、設定モード、または販売店で設定の変更が必要です。
※緊急呼び出し機能が設定されている場合、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。

呼出用チャンネル表示

CH15 呼出CH

操作方法[応用編]

ご利用になる目的に応じて、下記の機能をご使用ください。
※各機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ ユーザーコード

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。ほかの人の音声聞こえなくして、特定の相手の音声だけを聞くときに使用します。
※メモリーチャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。
※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。



- [機能/ロック]を短く押して、「UC-OFF」表示(初期設定)に切り替えます。
- [▼]/[▲]を押して、相手と同じユーザーコードを設定します。

■ 秘話機能

秘話機能を設定すると、ほかの相手に通話内容が傍受されるのを防止できます。
※メモリーチャンネルと秘話コードが一致したすべての相手と通話できます。

■ 個別呼び出し

詳細な設定をすることで、「全体呼び出し」、「個別呼び出し」、「グループ呼び出し」ができます。
※詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

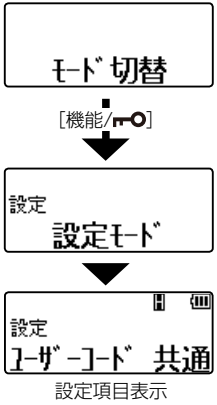
■ サブチャンネルPTT機能

複数チャンネル(最大3チャンネル)の切り替えを、ワンタッチでできる機能です。
◎メインチャンネルに加えて、[サイド1]、[サイド2]に割り当てたチャンネルで送受信できます。(例：[PTT] CH1 1、[サイド1] CH22、[サイド2] CH30)
◎割り当てたチャンネルを定期的に監視(スキャン)します。

設定モードによる機能設定

設定モードに移行するときは

- 本製品の電源を切ります。
 - [機能/ロック]を押しながら、電源/音量ツマミを回して、電源を入れます。
 - 「ビッ」と鳴って、「モード切替」が表示されます。
 - [機能/ロック]から手をはなしたら、すぐに[機能/ロック]を短く押します。
 - 「ビビッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、設定モードの設定項目が表示されます。
- ※「設定モード」が表示されなかったときは、手順1から操作をやりなおしてください。



設定内容を変更するときは

- [機能/ロック]、または[設定]を押して、設定項目を選択します。
 - ※ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
 - [▼]/[▲]を押して、設定を変更します。
 - ※別売品を接続しているときは、その製品の[PTT]を押します。
 - [PTT]を押すと、設定が確定されて、運用できる状態になります。
 - ※[機能/ロック]、または[設定]を押して、設定項目を変更後、電源を切ると、設定値が確定されます。
- ※設定モードを解除するまで通話できません。

設定モードで変更できる設定について

ユーザーコード：ユーザーコードの割り当て設定
送信出力：送信出力の切り替え
ロック動作：ロック機能動作中の音量調整
外部電源：別売品への電源供給設定
サブCH：メインチャンネルに加えて、[サイド1]、および[サイド2]にサブチャンネルを割り当てできるサブチャンネルPTT機能
GPS：GPS機能
Bluetooth：Bluetoothヘッドセットと本製品のBluetooth接続(ペアリング)(IC-D70BTのみ)
リセット：無線機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)
※販売店で設定により、変更できる項目が上記と異なる場合があります。

付属品

- ☐ アンテナ
- ☐ ハンドストラップ
- ☐ 保証書
- ☐ ご使用になる前に(本書)

■ アンテナ/ハンドストラップの取り付け

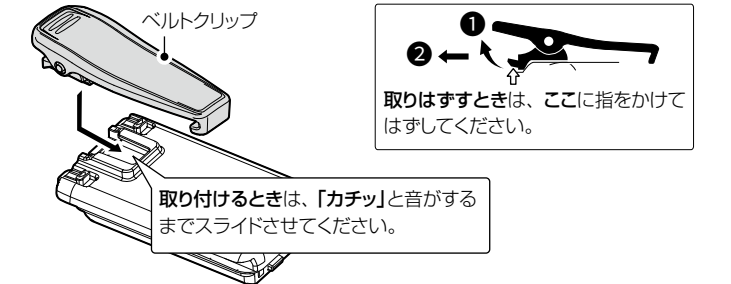


別売品

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品については、弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

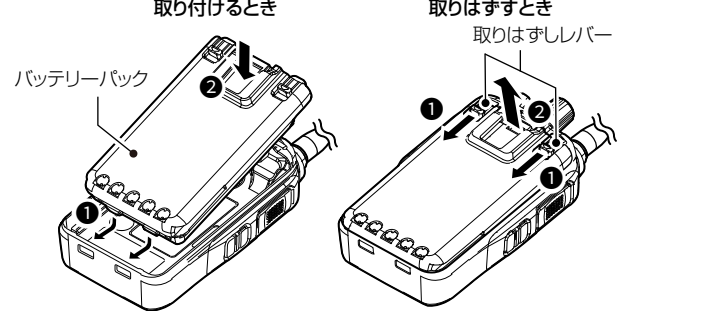
■ ベルトクリップの取り付け

バッテリーパック単体の状態で、ベルトクリップを着脱してください。



■ バッテリーパックの取り付けと取りはずし

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。



△注意
しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。
本製品の電源を切った状態でも、常に微少の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になります。

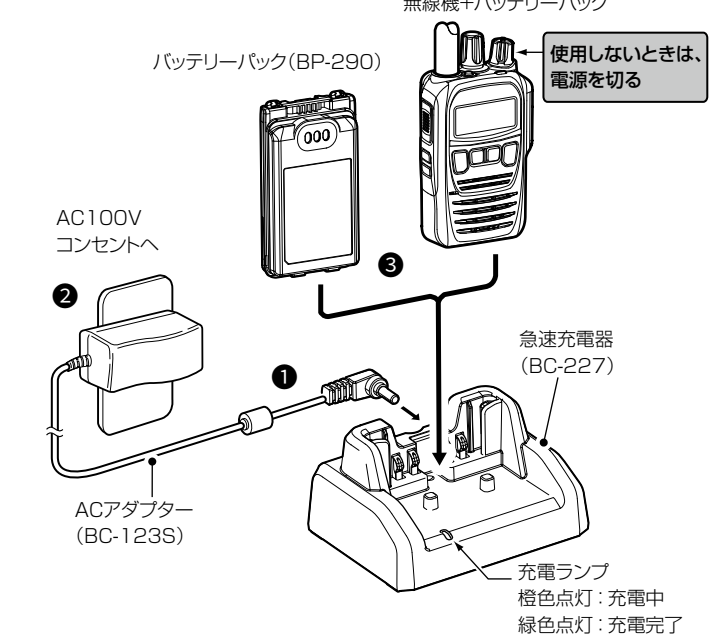
■ 充電時間と運用時間の目安

名称		IC-D70/IC-D70BT	
運用時間	パワーセーブ	ON	OFF
	送信出力	1W	約20時間
充電時間(BC-227使用時)	5W	約13時間	約11時間

条件：BP-290を使用して、送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用
※ご使用になるモードやバッテリーパック、充電器によって、運用時間や充電時間が異なります。
※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。

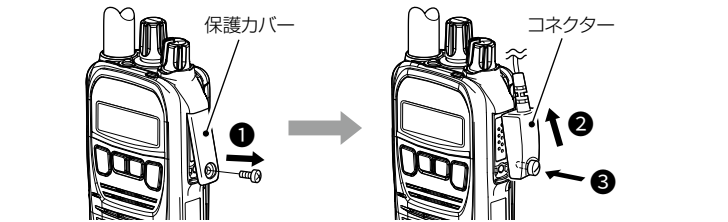
■ 充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。
※電源を入れたまま充電すると、充電モード(受信専用)になり、送信できません。また、充電が完了するまでの時間が長くなります。



△危険
◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器(弊社ホームページに掲載)をご使用ください。
◎ 「安全上のご注意」(表面)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■ スピーカーマイクロホンなどの接続



スピーカーマイクロホンやヘッドセットなどを接続するときは、無線機の電源を切ってから、図のように保護カバーを取りはずし、別売品のコネクターを接続してください。
※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。